



こまえをこたげる

こまづなNEWS

わかりやすい政治を伝える維新の会の政治活動(ミッション)は狛江市民の方に広く市政に関心を持っていただくこと。こまづなNEWSの編集方針は広く市民の皆様へ政治への関心をお寄せいただくことです。

VOL.75
2024年7月号

発行:責任編集
狛江市岩戸北
3-18-8-701
分かりやすい政治を
伝える・維新の会



まちが
本屋さんを
支える。

BOOK and BENCHTM
「この場所を訪れるからこそ起きる、
予期せぬ本や人との出会いがあるかもしれない。」
啓文堂書店・狛江店は、みんなで作るまちの本屋です。

人と人が
つながる場所
本

BOOK
and
BENCH

みんなで作る
まちの本屋。

本 啓文堂書店 × タマガワ図書館
by comecolor

みんな、街に本屋が戻ることを願っていた!

エキナカ
本展

「エキナカ本展」の
来場者ノート

狛江市民のあたたかい
手書きのメッセージの数々。
ぜひご覧ください!

「エキナカ本展」は、2024年1月に狛江駅
期間限定開催された

小山さんノート



小山さんノート
ワー

撮影協力:啓文堂書店狛江店

みんなで作る、 みんなで支える粕江の本屋さん



まちが本屋さんを支える。

粕江に啓文堂書店さんが戻ってきてくれました。

地域に暮らす方々の「粕江から本屋さんをなくしたくない！」という願いが届きました。それでも、ちょっと考えていただきたいことがあります。そもそも、本屋さんは本が売れていかないとご商売も成り立ちません。

今回の復活オープンに際して、店舗入り口近くにタマガワ図書部(山本雅美代表)さんプロデュースのBOOK and BENCHという企画がお目見えしました。地域に暮らす人々がブックセクター(選書する人)になり、自身が所有する本を選書・展示し、来店者はセクターの推薦する文章を読んでいただきながら、自由に本を読むことができる試みです。

ぜひ、本をお手に取ってください。「へえ～、こんな本があるのか？」とご自分の価値観をちょっとだけ広げてみる、そんな経験ができるかもしれません。因みに展示された本は、店舗販売用にもご用意されています。ある選書本は、書店オープン初日に在庫の5冊がなんと完売されたそうですよ。

ぜひ、この取り組みにご興味をお持ちください。地域にお住まいの方が自らブックセクターとなり、地域の書店さんの売り上げにも貢献していくこと。

まちが本屋さんを支える。そんなチャレンジです。



実際に選書していただいたブックセクターにお聞きしてみました

①BOOK and BENCHに応募した理由は②展開されているコーナーを見て、どんな気持ちですか？③啓文堂書店さんにメッセージを

◎小山 留美さん(大学生主婦)

選書:掃除婦のための手引き書

①タマガワ図書部の部員の方にお声がけをいただき応募しました。

②自分が選んだ本がいろんな人に届いているかと思うとなんだか嬉しはずかでした。貴重な経験になりました。

③粕江におかえりなさい！これからも末長く、粕江でよろしくお願ひします。啓文堂書店さんでいろんな本に出会えるのが楽しみです。



◎柳原 杏さん

(長野と東京の2拠点生活を始める自然大好き通信会社員)

選書:しあわせのパン

①私のパートナーが世田谷代田で「まちの本棚」を運営していることもあり、私も本と地域のひとがつながることに興味があったので応募しました。

②自分が関わっている分、特別な感じがして、嬉しかったです。本棚を見てくれる人がいるのを、ドキドキ眺めていました。

③祝！再オープン！本とひと、本屋と地域のつながりの大切さを、まちの人の歓喜の声から感じます。このような貴重な機会を頂き感謝です。



ブックセクターになって、あなたの選んだ本を啓文堂書店粕江店の“BOOK and BENCH”で展示しませんか

BOOK and BENCH 選書テーマ「誰かに読んで欲しい1冊」エントリーはコチラから  エントリー締切日：7月21日(日)

